

提出
順番

No.
2

平成 26 年 11 月 25 日
午前・午後 3 時 00 分受領

平成 26 年 11 月 25 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 藤谷謹至



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 平成 27 年 3 月開通する 帯広広尾自動車道忠類インターの周辺整備について	もう秒読み段階に来ている帯広広尾自動車道「忠類インターチェンジ（IC、仮称）」の開通を来年 3 月に控え、工事が急ピッチで進められている。10 月 30 日には忠類地域住民を対象に現場見学会も行われ 20 名の参加があったばかりで、工事完成の利便性向上に対する期待と中心部への経済的流失による不安を抱えているのが現状であると考え。11 月 20 日には来年 4 月をめどに立ち上げる魅力発信事業実行委員会の前段組織として検討会議が開かれた。さらに、和歌山大学観光学部との地域活性化事業の最終成果報告会も行われた。 遡れば平成 21 年度の忠類地域活性化診断をはじめ、忠類住民会議による提言、幕別町商工会忠類支部からの要望、住民団体との協議等、会議は数多く行われ意見・要望・提言は出し尽くされた状況の中で、それらをどう集約しどう具現化していくか町の役割であると考え。今後の忠類地域観光振興策、道の駅周辺整備をどのように構築していくのか伺う。 1 道の駅周辺整備の検討状況及び進捗状況、開通までのスケジュール、今後の整備方針及び整備内容を伺う。 2 占冠村・芦別市は木質バイオマスエネルギーの温泉利用を実施しコスト削減、雇用の創出を行っている。経営改善計画書を提出し赤字からの脱却を図っているアルコ 236 に木質バイオマスの導入を行ってはどうか。

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 忠類ふれあいセンター福寿における福祉事業及び忠類保育所の運営形態について	平成18年2月6日に幕別町と忠類村が合併して、来年には10年目、節目の年を迎えようとしている。 幕別町、忠類村のそれぞれが行ってきた事業は、合併協議で定められた事務事業の調整方針に基づき、「合併時」若しくは「合併後」にその取扱いが調整されてきた。しかし、現在も忠類村独自の事業のいくつかは、引き続き新町の事業として行われている。 合併後、月日を経て、現在の運営形態のまま事業継続を行っていく事が出来るのか、あるいは新たな運営形態に移行していくのか、特に二つの事業について今後の町の考え方を伺う。 1 ふれあいセンター福寿で行っている生活支援ハウス運営事業、デイサービス事業の今後の運営形態等について伺う。 2 忠類保育所は、町が保護者会OB中心で構成されている運営委員会に委託している状態が続いている。今後の運営形態について伺う。